

整理番号

13

川崎市SDGsプラットフォーム分科会 活動報告書

提出日

2025年2月28日

分科会名

「デジタルを活用した社会課題解決」分科会

分科会長

事業者名

所在地

担当者名

メール

電話番号

活動計画書（第1号様式）に記載の通り

1 分科会の設立目的・趣旨・概要

※活動計画書（第1号様式）の記載内容から変更なければ記載不要

活動計画書（第1号様式）に記載の通り

2 活動報告・活動結果

※成果報告会用の報告書で代用可能

別添「成果報告書」参照

成果報告会

デジタルを活用した 社会課題解決 分科会

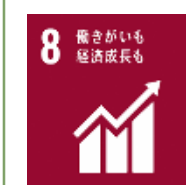
デジタル×社会課題解決実行委員会
代表 青木健祐

2025年3月10日

分科会長
(事業者・団体名)

デジタル×社会課題解決実行委員会
代表 青木健祐

関連する
主なゴール



設立目的・
趣旨・概要

地元の信用金庫に勤務し業務を通じ、様々な社会課題に直面しています。金融機関の職員では解決できない課題に対し、川崎市SDGsプラットフォームを活用することで、社会課題の解決を目指すために当分科会を設立しました。

活動計画・
活動内容

AI、メタバース、eスポーツ、ライブ配信、ショート動画（AI動画・ドラマ）などのデジタルや最新情報を活用し、社会課題の解決を目指します。
当分科会では専門家とともに、イベント、セミナー、勉強会などを通じ、課題解決に取り組めます。
特に「マネタイズ」、「持続可能性」、「再現性」の観点を大切にします。
分科会メンバー間の交流を促すとともに、協業することで相乗効果が発揮できる実践的な活動を目指します。なお、興味のあるテーマのみの参加も歓迎します。

募集したい
パートナー

- ・PR活動や事業承継問題などに悩む事業者
- ・女性活躍推進問題などに取り組む関係者
- ・不登校や奨学金問題などに取り組む関係者
- ・心と身体健康課題などに取り組む関係者
- ・パラスポーツの課題などに取り組む関係者

参加
メンバー

デジタル×社会課題解決実行委員会【※代表】、有限会社山中電機商会、地域学習プラットフォーム研究会 関東ブロック連絡会、NECプロボノ倶楽部、NPO法人姿勢教育の孝心会

2025年2月5日にセミナーを開催 中小企業が選ばれるブランド戦略 と社会課題の解決



【主催】川崎市SDGsプラットフォーム「デジタルを活用した社会課題解決」分科会

AI動画で差別化！

無料

中小企業が選ばれるブランド戦略と
社会課題の解決！

2025年2月5日(水)

16:15～ ※15:45より受付開始

AI動画の未来を探る

このセミナーでは、AI生成動画の未来に焦点を当てます。進化するデジタルマーケティングのトレンドやAI技術のイノベーションを取り上げ、AI動画がどのようにマーケティング戦略を変革するかを探ります。参加者は、AI生成動画を活用した具体的な戦略を学び、ビジネスに即応するための実践的な知識を得ることができます。さらに、宮城明弘氏によるインタラクティブセッションを通じて、未来を形作るAI活用の最前線に触れることができます。



講師

宮城明弘 みやぎあきひろ

10TEN PARADE Inc. CEO

映像プロデューサーとしてCMやMVの制作に携わり、AIの魅力に気付いたのを機にAIクリエイターとしての活動を開始。イギリスの「WE ARE HUMAIN」と日本人初の契約を結び、スペインのFREEPIKともクリエイティブパートナー契約を締結。国内ではGMOインターネットグループのAICREATIVE UNITメンバーとして活動。最新のAI技術を駆使し、独自の美的感覚と革新的なアイデアで未来的で魅力的な映像コンテンツを制作中。AIとリアルを融合させ、新しい映像の可能性を切り拓いている。

【受賞歴】

2024/8 AOI PRO. 「AI動画コンテスト」
クリエイティブ部門 優秀賞受賞

【ファシリテーター】

デジタル×社会課題解決実行委員会 代表 青木健祐

【場所】コミュニティハウスさくら

神奈川県川崎市川崎区東田町3-25（東田公園内）
<https://maps.app.goo.gl/nP7U4Bg5rVaGhk338>

【日時】2025年2月5日 16:15～ ※15:45より受付開始

【申込み期限等】

- ・申込期限：2025年1月31日（金）
- ・申込人数：先着30名（現在30名程度の申込受付済）
- ・参加費：無料

※反社会的勢力やネットワークビジネスなどの関係者はご参加できません。

【申込み方法】 以下の内容を入力の上、メールにてお申込みください。

①氏名（フルネーム）

②法人名や所属先など（あれば）

※複数でご参加の方は、参加者全員の氏名を入力ください。

kawasaki.sodi@gmail.com

2025年2月5日開催セミナー

【実績一覧】

- ①参加人数：51名
- ②参加者業種：建設業、不動産業、金融保険、SNS運用、映像関係など
- ③新聞掲載件数：1社
- ④ビジネスマッチング件数：9件
内訳（勉強会依頼：1件、AI動画活用相談：5件、AI動画製作：3件）
- ⑤社会貢献活動：1件
子ども向けAI動画教室（2025年3月より開始予定）

テンパレード株式会社 代表 兼 AIクリエイター

宮城 明弘 AkihiroMiyagi

映像プロデューサーとしてCMやMVの制作に携わり、AIの魅力に気付いたのを機にAIクリエイターとしての活動を開始。イギリスの「WE ARE HUMAIN」と日本人初の契約を結び、スペインのFREEPIKともクリエイティブパートナー契約を締結。国内ではGMOインターネットグループのAI CREATIVE UNITメンバーとして活動。

最新のAI技術を駆使し、独自の美的感覚と革新的なアイデアで未来的で魅力的な映像コンテンツを制作中。AIとリアルを融合させ、新しい映像の可能性を切り拓いている

【Instagram】



【X ※旧Twitter】



効果的なコミュニケーションのポイント

中小企業にとってのAI動画のメリット

短期間で制作できる

(従来の1/10の時間で動画作成)

コスト削減

例) プロの動画制作費用が100万円の場合、
AIなら3/1の費用で可能

SNS動画に最適

(Instagram・TikTok・YouTube広告での活用
)

多言語対応が可能

(AIが自動翻訳・ナレーションを生成)

今からAI動画を活用することが、中小企業のブランディングにおいて競争力を高める重要な戦略

なぜ中小企業にAI動画が有効なのか？

従来の動画制作の課題

- 時間がかかる（企画・撮影・編集に早くても1カ月以上）
- 高コスト（数十万～数千万円）
- プロのスキルが必要（撮影・編集の知識がないと難しい）

項目	従来の動画制作	AI動画
制作期間	1カ月以上	数時間～数日
コスト	50万円以上	1/3程度のコストで可能
専門スキル	撮影・編集のプロが必要	プロンプト入力だけでOK
SNS運用	制作・更新に時間がかかる	AIが自動で最適化・更新
多言語対応	別撮り・翻訳が必要	AIが自動翻訳・ナレーション生成

特に「スピード感」と「低コスト」が、中小企業にとって最大の武器に！

なぜ「AI×動画」がデジタルマーケティングの未来なのか？

デジタルマーケティングのトレンドを分析すると、
次の2つの要素が急成長しています。



AIの進化でマーケティングが「超パーソナライズ化」

- AIを活用したマーケティング市場は、2027年までに1,200億ドル（約18兆円）規模に達すると予測（Markets and Markets調査）
- AI広告は従来のターゲティング広告よりCTR（クリック率）が30%以上向上（Statista）



動画コンテンツの影響力が急上昇！

- 動画コンテンツの消費量は、2025年までにインターネットトラフィックの82%を占める（Cisco調査）
- TikTok・YouTubeショート・Instagramリールのエンゲージメント率は静止画投稿の2倍以上（Socialinsider調査）

つまり、

AIの力で「最適なターゲットに届け」

動画の魅力で「ユーザーの心をつかむ」

2025年のマーケティング成功のカギなのです！

AI動画の活用シーン（具体例）

1

SNS広告・プロモーション

事例：地元のカフェがAI動画で「期間限定メニュー」のPR
・ AIが自動で動画を生成 → TikTok & Instagramで拡散 → 来店数UP

2

ECサイト・商品説明動画

事例：中小企業のアパレルブランドがAIモデルを使ってバーチャル試着動画を制作
・ AIアバターが商品紹介 → 顧客の購買意欲UP

3

企業の採用動画

事例：地方企業が「社員の1日」AI動画を制作し、求職者へのPRに成功
・ 実際の社員の声をAIアバターで再現 → 採用エンゲージメント向上

4

観光・地域PR動画

事例：自治体が「観光名所のバーチャル体験動画」をAIで制作
・ AIがCGで観光名所を再現 → 海外向けプロモーションにも活用

5

クラウドファンディング

事例：新商品を開発した企業がAI動画でストーリーを伝え、資金調達に成功
・ 感動的なストーリーをAIで生成 → 支援者が増加

これらの事例のように、**「どの業種でもAI動画を活用できる」**ことがポイント！

AI生成動画による社会貢献の可能

AI生成動画は、教育・医療・防災・福祉などの社会的課題解決に貢献する大きな可能性を持つ。従来は時間やコストの制約で難しかったコンテンツ制作も、AIの力を活用すればよりリアルで、個々のニーズに適した映像を迅速に提供できる。これにより、社会全体の情報格差を解消し、人々の生活の質を向上させることが期待される。

教育分野：多様な学習体験の提供

- オンライン学習の強化
- 特別支援教育の充実
- 職業訓練や技術教育の向上

医療分野での活用

- 医療トレーニングの向上
- 患者向けの医療説明の強化
- リハビリ・メンタルケアの支援

災害シミュレーション

- リアルな災害シミュレーションの提供
- 避難訓練の高度化
- 被災者支援・啓発活動の充実

障がい者・高齢者支援

- 音声読み上げ・字幕生成の自動化
- 高齢者向けのわかりやすい情報提供
- 福祉・介護分野での活用

AI生成動画が切り拓く未来の社会貢献

AI生成動画は、教育・医療・防災・福祉といった社会的課題に対し、情報の格差を解消し、より多くの人々に平等な機会を提供することが可能になる。

また、リアルなシミュレーションや直感的なビジュアル表現を活用することで、学びや医療、防災の現場における理解を深め、人命を守ることにも貢献します。

AI生成動画は、単なる映像技術ではなく、社会の課題解決と人々の生活向上を支える新たな希望の光なると信じてます。

今後について

1. セミナーや勉強会の実施
(予定のテーマ)
ショートドラマやAI動画を活用した社会課題の解決
2. 川崎市内イベントなどへの参加
3. 分科会同士の交流
4. 子どもたちへの教育やサポートの実施
5. 川崎市の魅力向上